

世界無形遺産登録を目指す“烏山の山あげ行事”の秘密を探るワークショップ

1 趣 旨

国の重要無形遺産に指定されている「烏山の山あげ行事」(山あげ)は、和紙を活用した移動組み立て野外劇でユネスコの無形文化遺産登録を目指し地域文化活動に取り組んでいます。

「山あげ」は、人々が神様のチカラをいただく「山」を和紙で創作し、「山」は背景に踊りを奉納し、巡回する移動組み立て野外劇です。「山あげ」は、手漉き和紙で創作した高さ10メートルを超える巨大舞台装置を、奥行き100メートルの路上に配置します。舞台装置を移動し組み立て、動かすためには150人の男衆を必要とします。

「山あげ」は、烏山の6町の当番方式で運営されます。町の心意気を表現する舞台装置は、毎年更新されます。一年を費やして町の心意気を示すために創作された「山あげ」を披露するのが、7月の第4週の金、土、日曜日の3日間です。「山あげ」お3日間で、「山」は、6つの町中を巡回し、合計20本以上の上演されます。

今回の研究会では、実際に「山あげ」が開催されている最終日の7月29日(日)に、「山あげ」を成立させる“ふるさと力”(ふるさとへの愛情、人と人を結びつけるチカラ、人を動かすチカラ、未来への創造力など)に視点をあて、「山あげ」の持つチカラにふれてみようと思います。

そして、現在ミュージアム活動に取り組んでいる「山あげふるさと研究所」の活動をヒヤリングし、実際に“ふるさと力”を記録する地域資源調査を実践しようと思います。

2 講 師

山あげふるさと研究所 烏山和紙会館長 福田弘平

※コーディネイター JMMA応用部門部会 塚原正彦 弓場哲雄

3 開催日時と場所 7月29日(日)10:30～ 山あげ会館を起点にした烏山町内

4 集合時間と集合場所 7月29日(日)10:30 JR烏山駅前集合

5 今回のプログラムの目的

(1)「山あげ」を感じることで、町中がみんなで行き交う不思議なチカラを発見する。

(2)「山あげ」をになう町衆と交流し、「ふるさと」へ思いにふれる。

(3)「山あげ」により育まれる烏山の活力、チームワークの源を探る。

6 プログラムの内容

- 10:30 JR烏山駅集合
10:30～10:40 ガイダンス
10:40～11:30 山あげの見学
撤去→設営→舞台→移動
11:30～12:00 八雲神社の参拝や町衆との交流
12:00～12:30 福田弘平さん宅で、インタビューと交流
「神様のごちそう-山あげの日の特別なうどん-」

午前の部は、ここまでで、終了で解散になります。以下、希望者によるプログラムになります。

- 12:30～13:00 ランチョンミーティング（先着15名まで）
福田弘平さん宅で、「神様のうどん」をいただきます。
13:10～15:10 山あげ会館前の広場で「山あげ」を見学します。「山」ができるまで、「山」を動かす裏方さんの組織づくりなどを、インタビューできます。
15:10～16:00 市内散策
16:00～16:30 ぶんぬき(6つの町内の御輿が合流し、太鼓をたたき山を迎える最高のクライマックス)を見学します。
16:30 自由解散

7 参加費

- ①午前の部の参加者： 1000円(資料代と山あげミュージアムグッズを含みます)
②ランチョンミーティングの参加者 1000円(先着15名により山あげのうどんです)
③午後の特別席での「山あげ見学」 2000円(特別席の設営料金が含まれます)

8 問い合わせ、申し込み先

日本ミュージアム・マネージメント学会事務局
〒136-0082 東京都江東区新木場2-2-1
電話・ファックス 03-3521-2932 メール kanri@jmma-net.jp

9 締め切り 2012年7月23日(月)12:00

10 当日までの問い合わせ先 烏山和紙会館 那須烏山市中央2-6-8 TEL 0287-82-2100

11 当日の問い合わせ ※塚原の携帯 090-9964-2192